### 大学Evalution

大学が拓く新しい学び

### 地域と協働しながら 地域再生・地方創 知識・技能・意欲を育む

コミュニティ再生ケア学、地域産業イノベーション学

千葉大学は、地域社会の活性化に貢献する人材の育成をねらいとして、2015 年度に「コミュニティ再生ケア 学」、16年度に「地域産業イノベーション学」という全学共通教育プログラムを始めた。科目を「講義型」「講義・ 体験型」「PBL・実習型」に種別して体系化し、講義で得た知識・技能を地域で実践し、体験的に学べると いうカリキュラムが特徴だ。市民と学生が一緒に行う体験学習や、NPO・自治体の協力による地域体験活 動など、学生が地域で学び、地域について深く考える場を、地域と連携して多く設けている。

教養学部の鈴木雅之准教授は、 業申請の取りまとめ役を務めた国際 ・の主な役割を次のように話す。 地域に積極的に出

の地域イノベーション部門長で、

事

ケア部門)」を設置した。

同オフィス

れ

ションオフィス

コミュニティ再生

センター

(現コミュニティ・イノベ

献するとともに、 の拠点大学による地方創生推進事業 1)」(2013年度~)、及び「地 策に力を入れている。その一環とし 担う人材の育成を後押しするという 有する資源を生かして地域社会に貢 (COC+)」(15年度~) て始まったのが、文部科学省の は、 の拠点整備事業(COC、 日本全体の活力を高める政 「地域再生」「地方創生」 地域社会の変革を だ。大学が 知 地

事業である。 大学は、 その2つの事業に採択された千葉 地域社会の活性化に教育・

をつなぐ体制を整えました」

(資源) と、

地域のニーズ

地域貢献を行うのと同時に、

に出て活動しています。

そのように、

り組んでいる。事業推進のため、 研究・地域貢献の分野で総合的に取

13

年度には、「コミュニティ・再生ケア

## 土台となる力を身につける 主専攻と並行して、地域貢献

カリキュラム改訂時には、 を育成するために設けられた科目 かわりながら、 は、 15年度の普遍教育課程 「地域と暮らし」を新設した。 16年度は「団地再生まちづくり」 解決するマインドを持つ人材 「社会の一員として、 課題を主体的に設定 \* 2 必修科 地域とか 目

# 域域 **貢献について体系的に学べるプログラムを開始**

組む教員はおり、

その教員の研究室

に所属する学生は教員と一緒に地域

地

域の課題解決に住民と一緒に取

千葉大学国際教養学部准教授

コミュニティ・イノベーションオフィス 鈴木雅之 すずき・まさゆき

学で進めようと、各教員の持つシー 地域で学べる場を創出する動きを全 地域振興とデザイン」など20科 学生 0) \* 1 Center of Community の略。 \*2 千葉大学では全学共通教養教育を「普遍教育」と呼んでいる。

#### 「コミュニティ再生ケア学」「地域産業イノベーション学」の概要

コペエニノ・「行エノノ・チ」「地域産来・レ・、 ノコノチ」の概要				
		コミュニティ再生ケア学	地域産業イノベーション学	
目指す 人材像		地域志向のプロフェッショナル 地域づくりのスペシャリスト	産業振興のプロフェッショナル 地方創生のスペシャリスト	
ねらい		学生の主専攻である学部でのそれぞれの専門性を持ちながら、地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識・技能、実践力を備え、NPO、企業、自治体などそれぞれの立場で地域再生のために活躍できる人材を育成する。	学生の主専攻である学部でのそれぞれ の専門性を持ちながら、地域産業やイ ノベーションに関する幅広い教養と、 地域再生の知識・技能、実践力を備え、 大学、自治体、企業などの立場から地 域産業をイノベーションする人材を育 成する。	
履修 単位数		本プログラムの履修登録をした上で、普遍教育科目や専門教育科目として指定された科目の中から23単位を取得すると、履修証明書(サティフィケート)を発行。	本プログラムの履修登録をした上で、 普遍教育科目や専門教育科目として指 定された科目の中から30単位を取得 すると、履修証明書(副専攻)を発行。	
職業 イメージ 例		公務員、医療・福祉従事者、エンジニア、教員、地域企業、シンクタンク、コンサルタント、地域・都市づくり、研究者、CB/SB(※1)起業、まちづくりの会社・NPO	公務員、シンクタンク、6次産業化(※ 2)プランナー、コンサルタント、地域企業、研究者、ベンチャー起業、まちづくりの会社	
事業協働	大学	_	敬愛大学、千葉科学大学、千葉工業大学、 聖徳大学短期大学部、放送大学、城西 国際大学、日本大学生産工学部、木更 津工業高等専門学校	
	自治体	千葉県、千葉市、松戸市、柏市、 野田市	千葉県、横芝光町、いすみ市、勝浦市、銚 子市、麓山市、南房総市、長柄町、御宿町、木東津市、鴨川市、東金市、山武市	

※1 CBはコミュニティビジネス、SBはソーシャルビジネスの略。地域社会の課題解決に向けて、 住民、NPO、企業などが協力し、ビジネスの手法を活用して取り組むこと。

※2 第1次産業である農林水産業が、生産・加工(第2次産業)・流通販売(第3次産業)との一 体化や、観光農園のようなサービスなどを行うこと。

木准教授は語る。

科目 履修証明書が発行される。 0) 中 から23単位を取得す えと、

知識 <u>1</u> うなイノベーションを起こすための とを目的としている。こちらは、 性化させ、 関する課題の中でも、 業イノベーション学」を始めた 全学共通教育プログラムの そして、続く16年度には、 このプログラムは、 技能、 雇用を新たに創出するよ 実践力を身につけるこ 地域産業を活 地域社会に 「地域産 同じく **図** 指

知識

実践力を育むことを目

やコミュニティづくりを行うため

的としたプログラムで、

指定された

ア学」

だ (図1)。これは、

地域再生

育プログラム「コミュニティ再生ケ

にスタートさせたのが、 材の本格的な育成に向けて、

全学共通教

15年度

関して学ぶ機会を設けた。

さらに、地域活性化に貢献する人

全学生が在学中に一度は地域社会に

が開講されている。

そのようにして、

定された科目 すると、履修証明書が発行される。

門性を高めながら、 社会の課題を把握する手法や地域 専門教育科目としてプログラムで指 攻となる所属学部・学科で自身の専 会への入り方、住民とのコミュニケー 定された科目を履修し、 地 プログラムとも、 域産業の基礎、 普遍教育科目 学生は、 そして、 地域社会ま 地域 主専 社 P

口

の中から30単位を取

ションの 取り方などを学ぶ。

となっています」(鈴木准教授) 得ることも大切です。この2つ 揮できません。 つかめなければ、 ためには、 するための土台を身につける内 グラムは、そうした地域社会で活 実情を知り、何が課題であるかを 一高い専門性があっても、 地域の人たちから信頼を また、 その力を有効に発 活動を進める 地域社会

# 多彩な実習科目で、地域活動を体験的に学ぶ

だ (P.44図2)。 学生の意識を変える役割が大きいと、 生は自身の関心に応じて選択できる。 科目を履修科目に指定しており、 体系的に学べるようにしていること 科目と種別して必要単位数を設定し、 遍教育科目を「講義型」「講義・体験型 両プログラムの特徴の1つは、 講義型」「講義・体験型」の科目は、 BL・実習型」、そして専門教育 それぞれに多様 学 普

域社会がどれほど危機的状況にある か かわった経験がほとんどなく、 多くの学生はそれまで地域社会と 地

> 葉県の問題やポテンシャルなど、 を担当する県庁職員にお願いし、 柏市長、 を知る』 例えば、 0 の状況を率直に伝え、 かをあまり知りません。そこで、 千葉県内10地域の地域 私の担当科目

をするケースも多いという。 録をしていない学生が1年生の 撃を受けて、 工学部メディカルシステム工学科 千葉県の地域社会の実態に 2年生から履修登録 時

掘り起こしています」 この科目を、プログラム では、千葉市長や松戸市長、 『千葉の地域 課題意識 0) 履 振興 修 千 地

<sup>\*</sup>同大学の資料を基に編集部で作成

に鈴木准教授担当の「地域再生学」(\* 3年の根本卓也さんは、 に対して認識が変わったと語る。 を履修して、 地域社会での活動 2年生 0)

ありました。 が改まりました」 しく求められるものなのだと、 ことが大切であると知り、 とが多く、 Oは補助金や寄附金で運営されるこ 民の寄り合い的な活動という印象が 一地域社会の取り組みというと、 明確な活動報告書を出す しかし、授業で、 成果が厳 考え N P 住

### 学生と住民が一緒に アイデアを出し合う

L·実習型」には4つのカテゴリー 活動する実習科目が充実しているこ 学生が地域に出て、 があり、どの科目も単発のイベ 両プログラムの特徴だ。 住民と一 P B 緒に **図** 



根本卓也 ねもと・たくや ム工学科3年

コミュニティ再生ケア学履修生。 千葉県立船橋高校卒業。

コミュニティ再生ケア学履修生。 大浜美咲伎 おおはま・みさき

千葉大学法政経学部法政経学科3 埼玉県立大宮高校卒業。

> ント的 という内容だ。 座 学生と地域住民がともに学ぶ集中講 ジリンク・プログラム」(写真1) や美術、食などの専門家を迎え、 常を豊かに」を履修した。 2年生の時に「創造性をみがいて日 政経学科3年の大浜美咲伎さんは、 小学校を利用したサテライトキャン 始まり、 習できるカリキュラムになっている。 しい着眼点や発想を体験形式で学ぶ スで開講している。法政経学部法 その中で、特色ある科目が「カレッ (\*2)で、柏の葉キャンパスで な内容ではなく、じっくり実 西千葉キャンパス、 毎回、 廃校の 新

なり、 つの物事に対してこんなにも異なる した。そうした様々な背景を持った 見方があるのだと実感しました」 人たちが出すアイデアを見ると、 「履修している学生の所属学部は異 参加住民の年齢もばらばらで

# NPOで行うイベントの企画・ 運営を企業とも連携して進める

様々で、

派遣先を紹介するガイダン

分野もまちづくり、

環境、

福祉など

とも特徴だ。 派遣先のNPOが多種多彩であるこ 地 域活動体験」 (写真2) では、

「対象年齢は幼児から高齢者まで、 学生5人で認知症予防のための町歩 なっている。 むNPOに派遣された根本さんは、 |域活動は50時間以上行うことに

#### 「コミュニティ再生ケア学」のカリキュラム概要

		科	目種別	授業の概要	必要 単位数
普遍教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	地域とは何か、地域にある課題、解決事例な どを学ぶ。	1
	選択	講義・体験型	地域(再生)の基礎	自らが地域の課題を解決する力を身につける ために必要な基礎的な考えを学ぶ。	4~10
			地域(再生)に関する 多様な分野・テーマ	地域にある様々な分野の課題、解決方法を、 その専門分野の教員から学ぶ。	2~4
			地域(再生)に資する スキル	地域・コミュニティの課題を解決するために 必要なスキルを身につけるための入門編。	2~4
		PBL・ 実習型	PBL(プロジェクト・ベースト・ラーニング)	学生自らの提案により活動テーマを設定し、 活動計画を立て、実践する。	- 2~6
			カレッジリンク・プログ ラム	学生と市民が一緒に受講し、課題解決のプログラムなどに協働しながら取り組む。1回3時間程度で、全5~6回の集中講座。	
			地域活動体験	千葉県内の NPO で 50 時間以上地域活動を 行う。事前・事後学習も義務づけられている。	
			インターンシップ	自治体・企業・団体等で、40 時間以上のインターン研修を行う。事前・事後学習が義務づけられている。	
専門	専門教育科目 地域(再生)に関する 専門内容			各学部の専門科目から、該当する科目を指定。	6
履修証明書取得要件単位数					

「地域産業イノベーション学」のカリキュラムは、上記とほぼ同様であり(必要単位数はそれぞれ異 なる)、「講義・体験型」のカテゴリーは「地域づくりを学ぶ」「千葉を知る」「産業イノベーションを 考える」「スキルを学ぶ」から成る。また、専門教育科目における指定科目は「地域産業イノベーショ ンに関する専門内容」となる。 \*同大学の資料を基に編集部で作成

・運営し、 当日の 進 行、

たので、 後の報告書の作成・発表も行った。 では休める場所や危険な場所などを 異なる3つのコースを設定し、 きを企画 人念にチェックしました。 ベントを例に段取りを教えてくれ 「NPOの市民研究員の方が過去の それを基にして運動強度 町歩き 下 見 0) 事

幅広さを実感できます」(鈴木准教授)

認知症の予防に取り組

スに参加するだけでも、

地域活動

\*1「コミュニティ再生ケア学」は、一部科目を2014年度に開始しており、「地域再生学」は当時の科目名。現在は「地域の再生」として開講。
\*2 地域住民は受講料1万円が必要。規定の回数を出席すると修了証書が授与される。

は語る。 記録する本作りでは印刷会社と協力 活動もしやすくなったと、 つながりができたことで、 て活動を進める手法も学べました」 したことで、多くの関係者が連携な 旅程作成では旅行会社と、 それらの実習科目で地域社会との 根本さん 町歩きを 自主的な

した」 団体の活動に、 NPO体験などで知り合いができる はハードルが高かったのですが、 「学生1人で地域に飛び込んでいく そうしたハードルが低くなりま 私は授業で知り合った 授業外でも参加しま



「カレッジリンク・プログラム」の「地域を元気にするアプ リをつくろう」では、学生と住民がチームを組んで、アイデアを出

し合い、独自のアプリを開発した。

写真2 「地域活動体験」では、千葉県内のNPOにボランティアと して参加し、地域活動や市民団体の役割を実践的に学ぶ。実際に 地域に入ることで地域のニーズがつかめ、活動の意義も理解できる。

取得要件を満たしている学生には、

取得見込み証明書」が発行され、就

# 職業をつくるくらいの気概を持とう

びを通して、 なりました」 や使い手のニーズを意識するように れ、その技術を基に製品開発を行う 識も変わったと、 こその製品であり、 ことが多いのですが、使う人がいて 「工学部では、 「コミュニティ再生ケア学」での学 専門分野に取り組む意 新しい技術が開発さ 根本さんは語る。 製品の使われ方

動を行っていくために必要な精神的 な強さも身につけたいと話す。 公務員志望の大浜さんは、 地域活

> できないのだと実感しました」 でなければ、多様な人たちと仕事は 考え方や価値観が異なるので、 人たちと出会いました。 レッジリンクなどでは、 「市役所でのインターンシップやカ 人それぞれ 実に様々な

げて、 業イノベーション学」も認知度を上 ション学」の履修登録者数は16 かがえる。一方、 履修登録者数は100人を超えてお ミュニティ再生ケア学」の16年度 らしている両プログラムだが、「コ はPR活動に力を入れていくという。 13人だった。設置1年目の「地域産 3年次終了までに各プログラムの 学生に様々な気づきと学びをもた 学生の地域への関心の高さがう 履修者数を増やすために今後 地域産業イノベー 年度

> 業をつくる気概で取り組んでくださ ばそれが実績となり、 待できます。学生には、 チャンスもあります。 分かりません。 合う問題ばかりであり、 いと強調しています」 つながる職業がなければ、 に挑む』ということです。 本が直面するのは人口の大幅な減 最も重要なのは、 超高齢社会といった初めて向き しかし、 『答えがない問 (鈴木准教授) 次の展開が期 1つ成功す 誰も正 問題解決に だからこそ 自分で職 一解は

材が圧倒的に少ないと感じている。 きた経験から、 東北地方でも地域づくりに携わって 生に関するNPOの創立メンバー んできた。また、東日本大震災後 して千葉県内の地域づくりに取り ルティング事務所に勤務後、 鈴木准教授は、 地域再生を担える人 建築・都市コンサ 地 域

して、 地域に駆けつけ、まちづくりを行え 可能性は大いにあり、 る人材を育てておくことは非常に ことを期待しています」(鈴木准教授 志向のプロフェッショナルを目指 1人でも多くの学生が、 両プログラムをきっ 千葉県でも大地震が起きる そうした時 かけに 地